

平成 29 年度 すこやかメールマガジン 第 540 号【子どもを信じて待つ】4 月 20 日配信

みなさんこんにちは (^_^) /

4 月も半ばを過ぎましたが、新年度が始まり、やる気に満ちた表情で元気に登校する子どもたちの姿が多く見られます。その一方で、少し不安げな様子で歩いている子を見かけることもあります。

大人でさえ職場や生活環境が変われば、不安な気持ちも出てくるものです。子どもも同じで、特にもこの春入学・入園した子であれば、新しい場所や初めて出会う大人と子どものいる環境に、慣れないことから疲れがたまるなど少なからず負担を感じているのではないかなと思います。

実は、この春から園に通い始めた我が子も、登園して 2 日目には遊んでいる途中で寂しくなって泣いてしまったようです。

こんなとき、つい大人は「かわいそう」「大丈夫だろうか」と心配したり、「ぐずったりして、しょうがない子だ」とそれを悪いことだとしたりして、「何とか泣かないで園生活できるようにしなければ」と介入や干渉をしてしまいがちです。「子どもは幼くて弱いものだから、大人が手を貸してどうにかしてあげなければ」と考えてしまうのですね。

幼児教育家で森のようちえんピッコロ代表の中島久美子さんは、考える力、困難を乗り越える力など、子どもはそのすべてが大人の想像をはるかに超えているとして、そうした子どもを信じて待つ保育を実践しています。子どもに対して、大人が甘くみたり未熟だと思ったりして過剰な心配や手助けをすると、せっかくの成長の機会を奪ってしまうことにもなりかねません。

そもそも園に通い始めたばかりの子どもが、「お母さんと離れて寂しいな」などと思うのは当然のことで、その感情を泣いて表現するのも当たり前のことです。このとき、大人が何とかしようと「帰りにお菓子を買ってあげるから」と物で釣ったり、「今度泣いたら鬼やお化けがくるよ」と脅したりしてコントロールしようとするのではなく、「この子は今の状況を自分の力で乗り越えられる」と信じて待つことが、子どもの育ちには必要なのだと思います。

我が家でも、「今日ね、お母さんに会いたくなって泣いちゃったの」と言う子どもに対し、「寂しくて泣いてしまったんだね」と気持ちを受け止めつつも心配や手助けはせず、状況を見守っていくことにしました。

さて、その後はというと、今のところ楽しく園での生活を送っているようです。明日にはまた、メソメソと泣いてしまうかもしれません。それでも、いつかは乗り越えられると子どものもつ力を信じて、これからも子育てをしていこうと思っています。【M】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしく申し上げます(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索